

全国健康保険協会千葉支部 第98回評議会
(平成30年5月29日開催)

千葉支部データヘルス計画（第2期）の数値目標について

データヘルス計画（第2期）の目標について

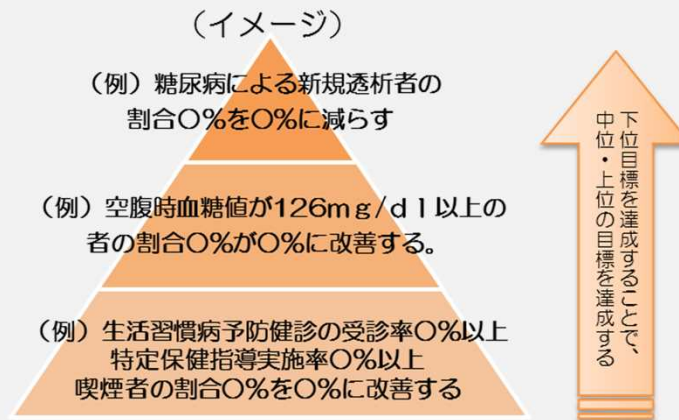
前回（第97回）評議会で説明した千葉支部のデータヘルス計画（第2期）における各種目標は以下のとおり。

- 上位目標・・・糖尿病による新規透析者の透析導入時の平均年齢を改善する
- 中位目標・・・①空腹時血糖値が126mg/dl以上者の割合を改善する
②BMI \geq 25kg/m²者の割合を改善する
- 下位目標・・・①健康づくりに取組む事業所の増加
②健康宣言事業所数の拡大
③喫煙者の割合の減少
④特定健診・事業者健診データ実施率の向上
⑤特定保健指導の実施率の向上
⑥医療機関未受診者に対する受診勧奨3か月後以内の医療機関受診者数の増加

これらの目標達成に向けて次頁以降に千葉支部における具体的な数値目標を設定している。

《参考》データヘルス計画（第2期）における目標の考え方

- 上位目標・・・重大な疾患の発症を防ぐ
(10年以上経過後に達する目標)
- 中位目標・・・検査値の改善を目指す目標
(6年後に達成する目標)
- 下位目標・・・生活習慣の改善、実施率の向上等上位
目標を達成するための下位の数値目標



各数値目標について

1. 上位目標 (重大な疾患の発症を防ぐものを掲げ、10年以上経過後に達成する目標)

糖尿病による新規透析者の透析導入時の平均年齢を55.7歳から60歳以上に改善する

千葉支部の糖尿病による新規透析者数及び透析導入時の平均年齢は以下のとおり。毎年100人を超える加入者が新規に透析を導入しており、その年齢は平均で56.6歳となる。人工透析が必要となった場合は高額な医療費が必要となることに加え、本人のQOLの著しい低下や事業所の生産性の低下などが想定される。千葉支部では各種取組を推進することで、透析導入時の平均年齢を60歳以上に改善することを目標とした。

○協会けんぽ千葉支部における新規透析者のデータ

	H26	H27	H28	平均
糖尿病による新規透析者	111人	101人	112人	108人
新規透析者の透析導入時の平均年齢	56.9歳	57.3歳	55.7歳	56.6歳

≪参考≫健康千葉21における糖尿病関連の数値目標

目標項目	現状 (H22年度)	目標 (H34年度)
合併証 (糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数) の減少	802人	738人

2. 中位目標 (検査値の改善を掲げ、6年後に達成する目標)

- ①空腹時血糖値126mg/dl以上の50歳代健診受診者の該当者割合を6.69%から6.09%（0.6%減）に改善する
- ②BMI $\geq 25\text{kg/m}^2$ の健診受診者の該当者割合を、男性37.1%から34.46%（2.64%減）、女性22.6%から21.04%（1.56%減）に改善する

《①空腹時血糖値について》

空腹時血糖値の値が改善することで、糖尿病に罹患するリスクが改善されるため、当該検査数値の改善を中位目標に掲げている。なお、空腹時血糖値の改善については対象者が一番多く、より効果が大いと思われる40歳代に着目して各種取組を進めていく予定としている。現在の40歳代の大半は6年後に50歳代となってくるため、50歳代の割合の改善を目標としている。

なお、健康日本21において、「血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少（H22：1.2%→H34：1.0%（0.2%減）※）」を目標に掲げており、その数値を参考に千葉支部の数値目標を設定している。

※健康日本21では空腹時血糖値の目標値が設定されていないため、当該指標を参考に目標を設定している。

〇年代別空腹時血糖 $\geq 126\text{mg/dl}$ の割合（協会けんぽ健診受診者データ）

年齢		H26	H27	H28
30代	人数	22864人	23347人	23901人
	該当者	387人	406人	425人
	割合	1.69%	1.74%	1.78%
40代	人数	53182人	58134人	61981人
	該当者	2617人	1998人	2166人
	割合	4.92%	3.44%	3.49%
50代	人数	39015人	42143人	44894人
	該当者	2643人	2829人	3002人
	割合	6.77%	6.71%	6.69%
60代	人数	26140人	28199人	30276人
	該当者	1912人	2877人	3054人
	割合	7.31%	10.20%	10.09%
70第	人数	2901人	3287人	4005人
	該当者	340人	355人	459人
	割合	11.72%	10.80%	11.46%

《参考》

- ・健康日本21はH22→H34の12年間で0.2%の減（1年あたり0.16%の減）を目標としており、6年間では0.1%の減が必要となる。
- ・千葉支部の50代の割合は6.69%と健康日本21における割合の約6倍となるため、6年間で0.6%の減を目標として設定している。

《②BMIについて》

千葉支部の特徴としてBMIの高リスクが挙げられているが、肥満の解消は糖尿病をはじめとした生活習慣病のリスクを軽減させること、特定保健指導を行ったことによる効果が出やすいことから中位目標としている。

健康日本21（第2次）において10年間で肥満者の割合

男性：32.4% → 28%（4.4%の減）、

女性：21.6% → 19%（2.6%の減）

を目標に掲げていることから、その数値に準じて男性は2.64%減、女性は1.56%の減を中位目標として設定している。

《参考》

・健康日本21（第2次）は10年間の削減目標となるが、データヘルス計画（第2期）の中位目標は6年後の検査地の改善を掲げているため、健康日本21の目標を6年間とした場合の数値目標としている。

・男性：4.4%÷10年×6年≒2.64%

・女性：2.6%÷10年×6年≒1.56%

○男女別BMI ≥25kg/m²の割合（協会けんぽ健診受診者データ）

		H25	H26	H27	H28
男性	人数	71040人	77011人	81348人	105977人
	BMI ≥25kg/m ² の人数	25432人	27878人	29936人	39360人
	BMI ≥25kg/m ² の割合	35.8%	36.2%	36.8%	37.1%
女性	人数	40514人	44046人	45488人	59080人
	BMI ≥25kg/m ² の人数	8589人	9514人	10098人	13334人
	BMI ≥25kg/m ² の割合	21.2%	21.6%	22.2%	22.6%

3. 下位目標 (生活習慣の改善、実施率の向上など、上位の目標を達成するための目標)

- ①健康経営の普及促進（コラボヘルス）の向けた取組
 - ・健康宣言事業所のうち健康づくりの取組を実施している事業所割合70%以上の達成（H35）
 - ・健康宣言事業所800社の達成（H35）

- ②喫煙対策の実施
 - ・千葉支部の喫煙率を36.6%から33.6%に改善（H35）
 - ・健康宣言事業所の喫煙者の割合10%以上の軽減（H35）

- ③特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上に向けた取組
 - ・生活習慣病予防健診受診率 51.8%（H30）
 - ・被扶養者の特定健診受診率 21.0%（H30）
 - ・事業者健診データ取得率 5.8%（H30）

- ④特定保健指導の実施率向上に向けた取組
 - ・特定保健指導の実施率 14.5%（H30）

- ⑤重症化予防対策の推進
 - ・医療機関未受診者に対する受診勧奨後3ヶ月以内に医療機関を受診した者の割合 11.1%（H30）

※（ ）内は上記数値目標の達成年度。③～⑤については事業計画におけるKPIと連動しており毎年度目標の見直しを行う。

4. 今後の進め方について

データヘルス計画（第2期）における目標達成に向けて今後各種取組（参考資料P20～25参照）を進めていくこととなるが、進捗状況や達成状況については毎年度評価（H32に中間評価）を行うことで、目標や次年度に向けた取組を見直すなど、より実効性の高い計画としていく。